

令和7年度第2回豊中市文化芸術振興審議会

日 時 令和8年（2026年）1月6日（火）午後5時00分～6時00分
会 場 豊中市役所第二庁舎3階西会議室
委 員 出席：橋爪（会長）、上田、河原、古後、後藤、森本、山下
欠席：天羽、大本
事務局 都市活力部：高島部長
魅力文化創造課：良本課長、山森主幹、石橋係長、渡邊主事、吉川係員
傍聴者 0名

[開会]

事務局○本日は第10期の審議会の第3回目であり、前回昨年度7月以来の開催で、今年度としては2回目の開催となる。

1. 令和7年度第1回文化芸術振興審議会の振り返りについて

事務局○（資料1に基づき説明）

会 長○ただ今の説明について、質問・意見はないか。

（質問・意見なし）

2. 令和8年度以降の豊中市文化芸術振興助成金について

事務局○（資料2-1、2-2、2-3に基づき説明）

委 員○審議会を通して答申することは審査部会としても安心のため良いと感じる。

委 員○今まで収入が黒字であるが故に助成金を大幅に減額したケースはあるのか。

事務局○助成金額を大きく減額したケースはない。

委 員○助成金を申請する団体側として、収入があっても全額減額されないということはモチベーションにも繋がると考える。豊中市が先進的に進めることで他市に対しても波及効果があるのではないか。

会 長○他の自治体での運用はどうなっているのか。

事務局○他市や大阪府を確認したが、変更前の豊中市と同じく経費以上に助成をする例は確認できなかった。

事務局○説明の補足だが、他市状況を調べてもわかるように文化芸術系の補助金においては黒字部分を差し引いて補助金を交付することが一般的である。しかし、審査項目の中に自立性があるように、補助金なしで自立して活動していくためにも一定の収益性を高めることは必要と感じ、今回の問題提起に至った。

委 員○減額の仕方についても非常に合理的で、団体・市双方に意味がある。

一方で審査をする側として、今回の変更に伴い審査基準も変化すると考える。

そのため、審査基準も併せてすり合わせることを事務局にはお願いしたい。

また、前例がない試みであることも踏まえて今回の変更点を踏まえた結果の

調査を継続的に行うことをお願いしたい。

事務局○承知した。

委員○助成をした団体が永続すればよいがそうでなかった場合の最終利益については考えたか。

事務局○自立して継続的に活動してもらいたいため、審査段階で継続性・発展性の部分は確認している。

委員○それでは、審査基準の継続性の点数配分が高くなる認識でよいか。

事務局○点数の配分について精査段階ではあるか今後の検討課題と認識している。

委員○審査が従来以上に厳しくなってくるため、事務局側にも情報提供を積極的にお願
いしたい。

会長○それでは、令和8年度以降の豊中市文化芸術振興助成金の変更に関して、
異議なしということよろしいか。

(異議なし)

3. 諮問

部長○諮問書を読み上げ

・諮問書を会長に手渡し

会長○本諮問について、審査部会から審議会に報告を受けたうえで答申していく。

4. 豊中市市民ホール等指定管理者の選定に関する報告

事務局○(資料3に基づき説明)

委員○今回選ばれた指定管理者はいつからされているのか。

また、毎回第2候補者や第3候補者はいないのか。

事務局○現在指定されたJCD・日本管財・大阪共立グループは第2期である5年前からし
ていただいている。

第2期に関しては応募表明団体が他に1社いた。

第1期に関しても応募表明団体が数団体いた。

委員○だんだん応募しなくなっている要因をどのように考えているか。

事務局○一概に要因を断定することは難しい。ただし、第2期の際は、指定させていただく
業務の流れのなかで現場説明を挟んだ後に応募表明を出していただくとしていた
が、選考が行われた時期がコロナ禍であり、現場説明会自体が開催できなかったこ
とが要因の一つであると考えている。

また、今回の第3期に関しては、すでに3期目で同一団体が運営していることや現
行の指定管理者のサービス水準が高く、令和5年度には地域創造大賞(総務大臣賞)
を受賞していることなどから他の団体の新規参入が難しかったのではないかと推
測している。

委員○職員の入れ替わりについて市側は把握しているのか、また総合館長が大学教員と
併任となっていることに対して市側の考えはいかがか。

事務局○アルバイトの方まで把握できていないが役職のある方については都度報告をいた
だいているため把握している。

総合館長の配置の件に関しては選定委員からも指摘があり、大学教諭の職務と総
合館長も併任は厳しいのではないかと選定時に指定管理者側に確認を行っており、

その際は、両立できる見込みであるとの回答をいただいている。

委員○指定管理委託料は増えているのか、減少しているのか、横ばいであるのか。

事務局○指定管理期間は5年と定めており、5年間分の債務負担額を定めている。

指定管理委託料積算の段階で物価上昇率や人件費の高騰分は上乗せして計算しており、かつ年度ごとに指定管理者と先述の背景などを踏まえて協議のうえ金額を決定しているため増えている。

委員○現場の労働力や指定管理者がどのような業者を雇っているのかについて市側でも把握いただけるとありがたい。

事務局○市と指定管理者でコミュニケーションを密に取ることでより良い運営に努める。

5. その他

事務局○次回の審議会は4～5月頃に開催したいと考えている。後日、日程調整する。

○会議録については事務局で作成した案を、後日、委員の皆様を確認後、確定させていただく。会議録は市のホームページで公開する。

[閉会]

(以上)